

授業科目

小児発声発語障害学I

担当教員名 大湊 麗	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		

授業の概要

機能性・器質性構音障害について、主に講義形式で学習する。

授業の目的

機能性・器質性構音障害の基礎的知識を習得する。

学習目標

機能性・器質性構音障害の評価、診断、治療の流れを理解できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	機能性構音障害の概要	講義	大湊 麗
2	構音の発達	講義	大湊 麗
3	構音の誤り	講義	大湊 麗
4	構音検査の概要	講義	大湊 麗
5	構音検査の方法	講義	大湊 麗
6	構音以外の評価	講義	大湊 麗
7	構音訓練の概要	講義	大湊 麗
8	構音訓練の方法	講義	大湊 麗
9	器質性構音障害の概要	講義	大湊 麗
10	口蓋裂一次治療	講義	大湊 麗
11	口蓋裂二次治療	講義	大湊 麗
12	口蓋裂言語の概要	講義	大湊 麗
13	口蓋裂言語治療	講義	大湊 麗
14	口蓋裂言語管理	講義	大湊 麗
15	まとめ	講義	大湊 麗

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	改訂機能性構音障害（言語聴覚療法シリーズ7）	本間慎治	建帛社	2007年	2,500円＋税	
	器質性構音障害（言語聴覚療法シリーズ8）	斉藤裕恵	建帛社	2002年	2,600円＋税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

試験、レポート

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。